

2016年5月7日から2017年7月20日までにご寄付頂いた皆様方のお名前です。ありがとうございました。



**認定NPO法人発足に伴う変更事項**

一般寄付・賛助会費は税控除の対象となりますので、領収書をお送り致します。

- 森主 宜延 様
- 稲垣 文江 様
- 渡辺 紀美 様
- 仁木 喜久美 様
- (公財)煎茶道方円流 南九州支部 様
- 大坪 修介 様
- 大坪 喜代子 様
- 鉦之原 綾子 様
- 有限会社saintarrow 様
- 内野 乃里子 様
- 河野 嘉文 様
- 福川 勉功 様
- 福川 みずほ 様
- 伊地知 修 様
- アイ・エイ行政書士事務所 石川 篤子 様
- 莊氣横山 様
- 黒崎 沙安 様
- 上野 凌太 様
- 鹿児島県小児科医会 様
- 井上 勝友 様
- 国分酒造株式会社 様
- 岩松 洋一 様
- 鹿児島教区仏教婦人会 様
- 品川 良彦 様

■一般寄付

本法人の活動意義をご理解頂き、額の多寡は関係なくご寄附を賜りますようお願い致します。現金収受の方法は、事務局へお問い合わせ下さい。

■個人賛助会員：年会費・・・・・・12,000円

■法人賛助会員：年会費・・・・・・120,000円

■募金箱

募金箱をお置きいただける店舗・企業・他を募集しております。ご賛同いただける方は、事務局までご連絡下さい。

本法人の活動意義をご理解頂き、活動を支援いただける個人又は企業の入会をお願いしております。

入会申込書をホームページからダウンロードして事務局へお送り下さい。

「鹿児島ファミリーハウス」のご利用方法

鹿児島市内の病院に通院、入院する患児とご家族のための宿泊施設です。基本的な電化製品・台所用品・寝具・他のご用意があります。  
 1,000円/1泊(宿泊人数は何人でもOK)でご利用できます。  
 セルフサービス(清掃、ゴミの始末、その他)です。  
 ボランティアの方達によって維持管理して頂いております。ご協力。

ご利用の流れ



\*(注)要/事前登録/ご希望の方は主治医にご相談下さい。

篤志家のご協力の下に鹿児島市鴨池2丁目(鴨池電停から徒歩1分)にあるビルの部屋(1K、1DK)をご提供頂き、平成19年7月からNPO法人子ども医療ネットワーク運営の鹿児島ファミリーハウスが誕生しました。

お問い合わせ/子ども医療ネットワーク事務局 TEL 099-275-5354

お問い合わせ先

認定NPO法人子ども医療ネットワーク本部

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1  
 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内  
 電話：099-275-5354

認定NPO法人子ども医療ネットワーク事務局

電話：099-275-5354 / FAX:099-265-7196

活動について・お約束

**活動** 離島やへき地など、小児医療の専門医が少ない地域に住んでいる子どもさんが、長期間の入院が必要な病気にかかった時に、ご家族を含めて安心して闘病できるように支援する事を目的に設立されました。又、難病等にかかり遠方から来院なさるおさんとそのご家族にも広く門戸を開き、病気に対する不安や疑問を軽減し、外泊あるいは通院にかかる負担を軽減する為の事業を行います。すべてが皆様の共感とご協力のもとに運営されています。

**お約束** 皆様からお預かりした個人情報  
 ・会員のご案内の発送以外の目的で使用する事はありません。  
 ・ご本人の同意なく第三者に開示・提供する事はありません。

会員の方々と事務局を結ぶ……

こねっと通信

2017.summer VOL.18



■ファミリーハウス

■健康相談会

■子ども救急箱

■その他

Save the Children  
 私達は離島・へき地の  
 難病児を支援します



すべての子どもに適切な小児医療と  
 快適な闘病生活を



認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)  
 子ども医療ネットワーク

## ●理事長通信●

こねっと通信の発行時期が少しずれましたが、2月下旬に第12期の役員会および総会を実施しました。皆様を支えられて13期目に入っておりますが、活動内容の新展開を模索中です。

10年ちよつとの間に、鹿児島県の小児医療事情も変化してきました。外来・入院患者数の減少は、特に地方で顕著になっているデータが報告されましたが、鹿児島県の小児入院患者数は10年前の70%程度に減少しました。予防接種の効果と小児人口の減少傾向が原因と推測されています。

小児救急が社会的問題になっていた時期に比べると、鹿児島市休日夜間急病センターの受診者数も減少し、時間外受診の大部分は小児患者者であると言われた時代は過去になりつつあります。

患者数が減少しても小児医療の充実には、日本の社会的課題であり続けています。将来のな人口減少が、年金制度だけでなく種々の社会基盤を破壊する可能性が明らかになり、妊娠・出産・子育ての支援体制の充実の重要性は増すばかりなのです。このような中で、当法人に何が出来るか、今一度考えたいと思います。引き続きご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

## ●子ども健康相談会 in 天城町 報告書●

平成29年1月14日(土) 場所：天城島町保健センター

相談会前日までに8家族小児9人の予約がありました(天城町5件、徳之島町3件、伊仙町1件)。当日キャンセルが1件あり、最終的な相談対応は7家族小児8人の相談となりました(天城町4件、徳之島町3件、伊仙町1件)。相談内容は、皮膚に関する事、喘息、発達、等々多岐にわたりました。相談中の子どもはプレイコーナーを利用しました。全体的には大きなトラブルもなく皆さん満足して帰られました。また開催してほしいとの意見も出されました。



## ●子ども健康相談会 in 伊仙町 報告書●

平成29年3月4日(土) 場所：伊仙町保健センター

相談会前日までに7家族小児9人の予約がありました(伊仙町7件、天城町1件、徳之島町1件)。当日の申込みも1件あり、最終的な相談対応は8家族(小児10人)の相談となりました(伊仙町8件、天城町1件、徳之島町1件)。相談内容は、子どもの成長(発育、発達など)、皮膚に関する事、夜尿、甲狀腺など、多岐にわたりました。相談中の子どもたちは、プレイコーナーで楽しく過ごしていました。



NPO法人子ども医療ネットワーク主催  
**小児科医師による子ども医療相談会**  
小児科専門医が無料のこと、発達のこと、なんでも相談お受けします。お気軽にご参加ください。  
日 程：平成29年3月4日(土) 午後2時～午後4時まで  
場 所：伊仙町保健センター  
相談医：徳之口 洋二 先生 橋本 浩 先生  
鹿児島県立総合医療センター 小児科 部長 徳之口 洋二 先生  
鹿児島県立総合医療センター 小児科 部長 橋本 浩 先生



## 子ども救急箱

### 《小児科医の役割》 - 全身の健康をチェック -

子ども医療ネットワーク理事長 河野 嘉文 (鹿児島大学病院小児診療センター)

2017年1月10日 南日本新聞掲載

小児科医が一般の人からよく聞かれる質問に、「小児科は何歳までが対象ですか」というものがあります。総合病院を受診する時の疑問ですが、最近では大学病院などでは紹介受診だけになっているので、このような質問は減りつつあります。

学生は、小児科は子どもと、子どもの病気を対象としている診療科と学びます。社会的定義としての子どもは15歳未満が多いようです。

世界の人口統計では、15歳未満人口を年少人口と呼び、子どもは「成長と発達がある人」を子どもと考えています。

成長とは身長や体重が増える重量的な増加を指し、発達は機能的な成熟のこととされます。発達は時間

## 子ども救急箱

### 《赤ちゃんの洗顔》

—せつけんを泡立てて使用—

子ども医療ネットワーク会員 児玉 祐一 (鹿児島大学病院小児診療センター)

2017年1月24日 南日本新聞掲載

赤ちゃんの1カ月健診で、保護者からよく相談されるのが、皮膚の湿疹です。その多くは新生児座瘡(さそ)と乳児脂漏(しろう)性皮膚炎で、通常、乳児湿疹と呼ばれるものです。新生児座瘡は生後2週頃から2カ月時に赤ちゃんの主に顔面に生じる、思春期によく見られるにきびのような発疹です。男の子に多いと言われています。乳児脂漏性皮膚炎は生後1カ月頃から顔や頭皮など皮膚の湿疹で、特に頭皮や眉毛に黄白色の厚いかさかさが付着するのが特徴です。両者ともお母さん由来のホルモン(一部赤ちゃん由来のホルモン)の影響で、生理的に皮脂の生産分泌が進むことにより起こります。そして、生後2カ月から3カ月で皮脂の分泌が低下することで自然に消えます。

これらの対処法の一つにせつけんによる洗顔をして過剰な皮脂を取り除くことが挙げられます。その際に大事なのは、固形せっけんまたはペーパー用無添加の液体洗浄剤を手のひらで泡立てて、こすりすぎないように洗うことです。

乳児脂漏性皮膚炎で頭皮や眉毛に固まって付いたかさかさは、洗うだけでは取れないこともありますが、あらかじめかさかさをオリーブ油で浸し、ふやからしてから洗うことが必要かもしれません。

時には軟こうが必要な場合もありますが、かかりつけの小児科医や皮膚科医に相談されるとよいと思います。

1カ月健診で新生児座瘡・乳児脂漏性皮膚炎の多い赤ちゃんは、せつけんでの洗顔をさされていように思います。赤ちゃんの顔をせつけんを洗うことをためらうお父さん、お母さんもいます。これらの湿疹の出現や悪化を防ぐために、普段の沐浴(もくよく)時の洗顔でせつけんを使うことをお勧めします。

「こねっと通信」は、会員の方々と本部・事務局を結ぶコーナーです。ご意見・ご要望をドンドンお寄せ下さい。

《宛先》  
〒890-8520  
鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内 「こねっと通信」係  
E-mail  
kodonpo@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)

子ども医療ネットワーク

ホームページは随時更新中です

http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~ped/kodomoiro/

「こねっと通信」表面に掲載させて頂けるお子様の写真を募集しております。上記住所にお送り頂くか、E-mail kodonpo@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp まで

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 小児診療センター小児科内 「こねっと通信」係

※子ども救急箱の記事は2006年4月から隔週に掲載されています